

事業所名 アシスト・ケア プラス (第12回)

運営推進会議開催(中止)報告書

開催日時 令和4年3月 コロナウイルス感染拡大の為、対面開催中止		
参加者		議題
利用者	1名	① 前回の運営推進会議の振り返り
利用者家族	0名	② 事業所の特色
地域住民の代表者	1名	③ 利用者の構成
市職員	1名	④ 職員資質向上の取組み
地域包括支援センター職員	1名	⑤ 苦情、事故、ヒヤリハットの事例
事業所	2名	⑥ 事業所で内外での活動
		⑦ ボランティアとの連携
		⑧ 避難訓練
		⑨ 地域から課題や要望
		⑩ その他
会議録		
<p>① 11回(9月の実施なし)運営推進会議の振り返り 相変わらずのコロナ渦により、外出による機能訓練がほとんど出来なく残念であるが、今できることで楽しみを見出せていけるようにスタッフ全員知恵を絞っていきたいと思っています。 高齢者福祉課より：コロナ渦の中行事はどのように工夫して実施していますか？ →施設内での行事やレクリエーションについては備品の消毒を徹底して、お楽しみの食事についても感染予防の為に一人ずつ順番にご案内して対応しています。</p> <p>② 事業所の特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5時間、7時間のサービス提供時間の選択可能。 ・半日リハビリデイサービスと同じマシン運動にて機能訓練 →生活動作に即したマシン運動(起立運動・浴槽の跨ぎ動作、等) ・入浴(個浴2つにて対応) ・昼食の提供(織部焼の陶器を使用) ・口腔機能訓練は歯科衛生士の指導を基に実施 ・身体機能の向上と、認知機能低下予防として「くもん学習療法」を取り入れた頭の機能訓練も行います。 簡単な読み書き計算、音読をすることで、前頭葉が活発に動き、認知症の予 		

防改善に効果的です。FAB、MMSE の認知症テストを半年後に実施したところ、数名の改善結果がみられました。

勉強ではなく、楽しく取り組むことができ、頭の活性化や声を出して実施しております。

③ 利用者の構成（3月現在プラスでの実績）

利用者数約40名 男女比3対7 平均介護度2 平均利用者：日/16名

④ 職員資質向上の取組み

- ・概ね月に一回、運動方法の見直し及びサービスの統一化や困難事例の対応方法などを話し合っている。
- ・2ヶ月毎に、くもん学習療法での学習状況を確認して適切な課題の検討。
- ・外部講師（理学療法士、歯科衛生士、ハンドマッサージ研修講師）を招いての講習を実施（当面無し）

⑤ 苦情、事故、ヒヤリハットの事例

- ・車両の軽微な物損事故は起きてない。

⑥ 事業所内外での活動

運動会、室内でのお買い物体験

⑦ ボランティアとの連携

- ・ボランティアによる、フルート演奏会を実施

⑧ 避難訓練

9月15日に実施

火災の想定にて、利用者さんを誘導しながら駐車場へ避難

今回より、近隣の住民等を巻き込んで訓練の実施をする必要性があり、ビルの会館職員も参加して貰った。

高齢者福祉課より→避難訓練は年に2回実施するように指導あり

⑨ 地域から課題や要望

やすらぎ包括支援センターより→一人一人の個性を大切にして、相談や連携の取りやすい事業所なので助かります。

ご家族より→四月にはお花見の予定も嬉しく思っています。

⑩ その他

タイムリーな情報共有の為に、グループラインを使用して情報の共有化をしている。